

自殺対策における取組みについて

			No.	事業名	内容	令和元年度実績 (未実施のものは予定を記入)	担当課
(1) 教育・啓発の推進		①市民に対する広報活動・意識づくりの推進	1	人権啓発推進事業	啓発活動のひとつとして、啓発物品や冊子等を配布します。	<p>○特設人権相談所開設のお知らせチラシの配布 実施日：R1. 8. 1号及びR2. 1. 1号に配布 対 象：久喜地区内市民 配布数：約29,000枚</p> <p>○市民まつり人権啓発活動 実施日：R1. 10. 20 場 所：JR久喜駅西ロータリー内 協力者：9名（人権擁護委員等） 配布物：ウェットティッシュ、エコバック、マグネット 他 計2,000個</p>	人権推進課
						<p>人権啓発用行灯の掲出 行灯掲出実績 H31. 4 菖蒲総合支所 R1. 5 しょうぶ会館（ポピーまつり期間中） R1. 6 菖蒲総合支所（ブルーフェスティバル期間中） R1. 8 しょうぶ会館（こども祭り） 菖蒲文化会館（人権啓発月間・人権映画会） R1. 11 菖蒲文化会館（菖蒲地区「人権のつどい・少年の主張大会」） R1. 12 菖蒲総合支所（人権啓発週間） 【R2. 2 森下公民館（森下公民館まつり）】</p>	菖蒲総務管理課
						<p>①駅頭人権啓発活動 実施日：R1. 8. 8 場 所：栗橋駅 協力者：21名（人権啓発栗橋実行委員会役員等） 配布物：ウェットティッシュ 1040個</p> <p>②栗橋やさしさ・ときめき祭り人権啓発活動 実施日：R1. 11. 17 場 所：栗橋B&G海洋センター 協力者：3名（人権擁護委員） 配布物：ウェットティッシュ 800個</p>	栗橋総務管理課
						<p>①駅頭人権啓発活動【8月】 実施日：R1. 8. 7 場 所：東鷲宮駅および鷲宮駅 協力者：73名（人権擁護委員等） 配布物：ポケットティッシュおよび ウェットティッシュ計2,000個</p> <p>②駅頭人権啓発活動【12月】 実施日：R1. 12. 3 場 所：東鷲宮駅および鷲宮駅 協力者：56名（人権擁護委員等） 配布物：同上</p>	鷲宮総務管理課

(1) 教育・啓発の推進	① 市民に対する広報活動・意識づくりの推進	2	地域福祉計画推進事業	ともに生き、ともに安心して暮らせる地域社会の実現を目指し、地域福祉の推進を図ります。	R1.8.6 令和元年度第1回久喜市健康福祉推進委員会開催 (委員9名、事務局8名出席)	社会福祉課
		3	健康増進・食育推進計画に関する事業	笑顔あふれる元気なまちを目指し、健康づくりと食育の推進を図ります。	R1.8.6 第1回庁内連絡会議開催(12名出席) R1.8.20 第1回健康増進・食育推進審議会開催(17名出席) 【R2.1.14 第2回庁内連絡会議開催予定 R2.1.24 第2回健康増進・食育推進審議会開催予定】	健康医療課
		4	自殺対策事業「メンタルヘルスチェックシステム」の運用	こころの体温計として、簡単にこころの健康チェックができるシステムを運用します。 https://fishbowlindex.jp/kuki/	平成31年4月～令和2年3月 システムアクセス数 14,172件(R1.11.29現在)	健康医療課
		5	自殺対策事業	3月の「自殺対策強化月間」等関係団体等が連携して、重点的に広報啓発活動を展開する時期に合わせ、「自殺予防キャンペーン」を実施します。	自殺予防街頭キャンペーン R1.9.11東鷲宮駅 協力者2名(久喜警察等) R1.9.17栗橋駅 協力者6名(幸手警察等) 【R2.3.16 久喜駅 R2.3.30 モラージュ菖蒲】	健康医療課
		6	「自殺予防キャンペーン」の実施「自殺予防週間(9月)」や「自殺対策強化月間(3月)」の全庁的な取組み	庁内の各種相談窓口等において、9月の予防週間や3月の強化月間に併せて自殺対策のための啓発用品を配布します。	自殺予防啓発キャンペーン 啓発品配布窓口 17課 9月 ポケットティッシュ 各課50個 【3月 マスク 各課100枚】	健康医療課
		7	精神保健事業こころの健康講座	精神保健に関する疾病発生の予防及びこころの健康の保持増進を図ります。	ふれあいセンター久喜を会場に、7月と11月の2回、講師を招き、こころの健康に関する講演会を開催。 参加者：2回延べ106人	中央保健センター
		② 教育分野との連携	1	人権教育事業	市内小中学校児童生徒の人権問題等に関する啓発と意識の高揚を図ります。	人権文集「えがお」を11800部作成し、11月18日に市内すべての児童生徒と教職員に配布しました。また、各学校が取り組んだ人権教育に関する実践事例を本年度中に実践事例集として発行する予定です。
	2	社会教育推進事業	家庭や地域の教育力の向上を目指します。	・市の就学時健診に合わせて、子育て講座を実施しました。(10月中全23校実施) ・小中学校のPTA、幼稚園保育園の保護者会等を対象に、家庭教育に係る講座等を実施する学級に補助金を交付しました。 ・児童生徒にボランティア手帳を配布し、ボランティア意識の向上を図りました。 ・「いのちを大切にすること」を演題とし、小中学校保護者及び家庭教育に関心のある人を対象に家庭教育フォーラムを開催しました。(11月5日、63名参加)	生涯学習課	
	3	教育相談事業	市内小中学校の教職員に向けて、様々な相談に対応する方法等についての研修を行い、指導力の向上を目指します。	様々な悩みを抱える児童生徒への相談対応についての研修を3回計画し、そのうち2回実施しました。(8月7日、11月25日)対象者：市内小中学校教育相談生徒指導担当教諭、その他希望教職員、小中学校相談員、適応指導教室長、適応指導教室指導員相談員、スクールソーシャルワーカー	指導課	
	4	教職員等を対象にした「ゲートキーパー養成講習」の実施	教職員を対象に、自殺の危険を示すサインや危険に気づいた時に対応できる「ゲートキーパー」を養成します。	R1.7.30ゲートキーパー養成講座開催 参加者62名(市内小中高等学:48名 行政職員:14名)	健康医療課	
	5	学校における自殺予防教育の取組み	学習指導要領に基づき、学校において「命の大切さ」「人間の尊厳」などを教え、発達年齢に応じた自殺予防に資する授業を行います。	特別の教科道徳の時間を要し「命の大切さ」に関わる授業を各学校で行いました。指導課においては、6月に学校宛に児童生徒の自殺予防に係る取組みについて通知を出し、適切な対応について情報提供を行いました。	指導課	

(2) 相談・支援のネットワークづくりとそれを支える人材育成	★相談・支援のネットワークづくり	①子ども家庭分野における相談・支援体制	1	家庭児童相談室運営事業	児童や家庭を取り巻く種々の相談に応じ、家庭における人間関係の健全化及び児童の養育の適正化等、児童福祉の向上を図ります。	日数 162日 相談件数 久喜 373件 菫蒲 102件 栗橋 231件 鷺宮 179件 実施事業数 30回 ※R1.11.30現在	子ども未来課
			2	おもちゃ図書館運営事業	心身に障がいのある児童や発達に心配のある児童に対し、おもちゃの遊びを提供することによりそれぞれの児童の発達を促します。併せて、保護者の相談に応じ、子育てについての必要な助言・指導を行います。	開館日数 96日 利用者数 延べ1,129人 児童相談 269件 ※R1.11.30現在	子ども未来課
			3	地域子育て支援センター運営事業	子育て中の親子が気軽に立ち寄り、子どもたちが安全に楽しく遊びながら健全に成長できる場を提供し、子育てについての相談、情報提供、助言等、子育て家庭の育児を支援します。	開設日数/久喜 165日 /栗橋 165日 / 鷺宮 165日 利用者/ 久喜 6,498人 /栗橋 7,035人 / 鷺宮 9,144人 実施事業/久喜 57回 /栗橋 53回 / 鷺宮 71回 子育て相談/久喜 49件 /栗橋 38件 / 鷺宮 62件 ※全てR1.11.30現在	子ども未来課
			4	つどいの広場事業	子育て中の親子が気軽に集い、親同士が打ち解けた雰囲気の中で語りあい、交流できる場を提供し、子どもや親同士の交流を支援します。	開設日数 122日 開設時間 午前9～12時 利用者 延べ2,190人 実施事業 18回 子育て相談 27件 ※全てR1.11.30現在	子ども未来課
			5	児童館運営事業	地域児童や子育て中の親子に健全な遊び場の提供や子育てなどの相談に応じることで、心身ともに豊かで健康な子どもたちの育成を目指します。	児童センター 鷺宮児童館 開館日数 175日 195日 利用者数 15,807人 8,648人 実施事業数 94回 72回 児童相談 22件 6件 ※全てR1.11.30現在	子ども未来課
			6	教育相談事業	児童生徒、保護者等の相談に応じ、悩みの解消を図ります。	小・中学校に教育相談員（22名）を配置し、児童生徒及び保護者等のいじめや不登校などに関する相談に応じ、悩みの解消や軽減を図りました。	指導課
	②保健分野における相談・支援体制	1	精神保健相談	保健師が面談、電話、訪問による方法で相談に応じ、こころの健康に対する不安を軽減します。	相談実績 面談：延べ117人 電話：延べ701人 訪問：延べ53人（R1.11月末時点）	中央保健センター	
		2	こころの健康相談事業	精神保健福祉士が個別で相談に応じ、こころの健康に対する不安を軽減します。	月1回、いずれかの保健センターで実施。相談実績：8回延べ17人（R1.11月末時点）	中央保健センター	
		3	精神保健福祉事例検討会の開催	精神保健福祉に関する事例検討を通じて、支援者の相談技術の向上を図ります。	市の関係課、幸手保健所及び民間関係機関の担当者が参加し、対応困難ケース等の事例に関する情報を共有した。開催実績：3回（R1.11月末時点）	中央保健センター	
		4	子育て世代包括支援センター事業	妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、妊娠から子育て期にわたる切れ目のない支援を提供します。	各保健センター内に子育て世代包括支援センターを開設し、妊娠・出産・子育てに関する相談支援を実施。	中央保健センター	
		5	母子訪問指導事業	妊娠・出産・育児に関する知識の普及、情報の提供及び保健指導を行います。	保健師・助産師等が自宅等に訪問し、妊産婦の健康に関する相談や乳幼児等の発育・発達、育児等についての相談支援を実施。延べ1,540件（R1.11月末時点）	中央保健センター	
		6	乳幼児相談・教室事業	乳幼児の発育発達を促し、保護者へ必要な知識の普及と不安の軽減を図ります。	各種相談・教室事業を実施。 離乳食のすすめ方教室 20回延べ118組 乳幼児健康相談 32回延べ975組 むし歯予防教室 7回延べ151組 1歳6か月児健診継続相談 39回延べ110組 親子教室 44回延べ238組 ことばの相談 66回延べ280組 乳幼児発達相談 20回延べ77組（R1.11月末時点）	中央保健センター	

(2) 相談・支援のネットワークづくりとそれを支える人材育成	★相談・支援のネットワークづくり	③ 障がい者支援体制相分野における	1	相談支援事業	身体障がい、知的障がい、精神障がい（発達障がい、高次脳機能障がいを含む）、難病等の心身の機能の障がいがある人からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、必要な支援を行います。	障がい者福祉課及び2か所に設置している久喜市障がい者生活支援センターにおいて、障がい者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言、その他の障害福祉サービスの利用支援等の必要な支援を行っています。	障がい者福祉課
			2	障がい者虐待防止事業	障がい者に対する虐待の防止及び早期発見、虐待を受けた障がい者の迅速かつ適切な保護並びに養護者に対する適切な支援を行うとともに、関係機関との連携協力体制の整備を図ります。	久喜市障がい者虐待防止センターを設置し、久喜市基幹相談支援センターや久喜市障がい者生活支援センター等の関係機関と連携を図りながら、障がい者に対する虐待の防止に努めるとともに虐待を受けた障がい者の保護や支援を行っています。 相談受付件数 6 件（令和元年12月9日現在）	障がい者福祉課
		④ 高齢・介護分野における	1	地域包括支援センター事業	高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、適切な情報提供や関係機関紹介等の相談支援、虐待の早期発見・防止や成年後見制度等の権利擁護、介護予防ケアマネジメント、在宅医療・介護連携、認知症（脳血管疾患の後遺症による高次脳機能障がい等を含む。）の高齢者への支援などを行います。	市内5カ所の地域包括支援センターにおいて、高齢者の様々な相談を受け、適切なサービスが利用できるよう支援につなげました。 令和元年度10月末実績 延べ相談受け人数 15,446人	高齢者福祉課
			2	介護保険相談員派遣事業	要支援・要介護認定を受けた高齢者等の自宅等を訪問し、介護保険に関することや介護等に関する悩みや不安などの相談に応じます。	介護保険相談員 5 名 4 月～10 月実績 訪問相談件数：久喜地区 594 件 菖蒲地区 76 件 栗橋地区 129 件 鷲宮地区 155 件 R1・9・27介護保険相談員連絡会議開催 (介護保険相談員 5 名/担当職員 5 名出席)	介護保険課
		⑤ 生活困窮者における相談・支援体制	1	生活困窮者自立支援事業	生活困窮者を包括的に支援し自立の促進を図ります。	※R1.10.31現在 ○相談件数:185件（終結:158件、継続:27件） ○住宅確保給付金（支給人数:1人、相談件数:5件） R1. 4. 18 第1回支援調整会議 R1. 5. 20 第2回支援調整会議 R1. 6. 21 第3回支援調整会議 R1. 7. 24 第4回支援調整会議 R1. 8. 28 第5回支援調整会議 R1. 9. 25 第6回支援調整会議 R1. 10. 24 第7回支援調整会議	生活支援課
			2	生活困窮の子どもに対する学習支援事業	経済的困窮等により支援を必要とする家庭の子どもに対して学習支援を行い、将来の進路選択の幅を広げ、自立の促進を図ります。	※R1.10.31現在 ○学習教室（開催数:27回、参加生徒数:延べ162人） R1. 9. 21 第1回学習専門員意見交換会 【PR2. 3 第2回学習専門員意見交換会】	生活支援課
			3	生活保護事業	生活に困窮するすべての市民あるいは市内に現在地を有する者に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長を図ります。	生活保護の状況（令和元年10月1日現在） 被保護世帯数：1,309世帯 被保護人員：1,787人	生活支援課

(2) 相談・支援のネットワークづくりとそれを支える人材育成	★相談・支援のネットワークづくり	⑥人権や暮らし分野における相談・支援体制	1	人権擁護事業	人権問題等に関する市民の相談に応じ、適切な指導及び助言を行います。	人権相談：毎月10日13：15～16：15 相談件数：24件（11月末現在） 人権相談：毎月第3水曜日 相談件数：5件（11月末現在） 人権相談：毎月第3木曜日 相談件数：3件（11月末現在） 人権相談：毎月第4月曜日 相談件数：8件（11月末現在）	人権推進課 菖蒲総務管理課 栗橋総務管理課 鷺宮総務管理課	
			2	女性の悩み相談事業	悩みを抱える女性の相談に応じます。	女性の悩み相談を毎月2回（原則第1・第3金曜日 13:00～17:00）実施しました。	人権推進課	
			3	外国籍市民支援事業	外国籍市民に日本語を勉強する機会と日常生活に必要な情報を提供します。	R1.9～R1.12（全12回開催予定） R1.12.1現在 120名が参加	市民生活課	
			4	消費生活事業	日常の、消費生活に関する問題を抱える市民に対し、解決のための助言を与えます。	月曜日～金曜日 10時～12時、13時～16時実施 H31.4～R1.11相談件数 455件	市民生活課	
			5	法律相談事業	日常生活における、様々な法的問題を抱える市民に対し、解決のための助言を与えます。	毎月5回実施（本庁舎2回、各総合支所1回） 1人30分 毎回6人 H31.4～R1.11相談件数 220件	市民生活課	
			6	雇用対策事業	求職者や求人者に対し、職業相談や職業紹介サービス等の場を提供します。	ふるさとハローワークの設置（平日9時～16時） 相談4520件、就職448件（令和元年11月末時点） 内職相談の実施（毎週火・金10時～16時） 相談73件、採用数10名（令和元年10月末時点）	久喜ブランド推進課	
	★相談・支援人材を育てる	①自殺対策	1	自殺対策事業 ゲートキーパー養成講習の開催	庁内の各種窓口担当者や相談担当者等を対象に、自殺やうつ病等の自殺関連事象に関する正しい知識を普及啓発し、自殺の危険を示すサインや危険に気づいた時に対応できる「ゲートキーパー」を養成します。また、具体的な庁内での連携方法について学びます。	【R2.3.9ゲートキーパー養成講座開催予定 対象者：久喜市民生委員及び行政職員】	健康医療課	
			2	精神保健福祉事例検討会の開催（再掲）	精神保健福祉に関する事例検討を通じて、支援者の相談技術の向上を図ります。	市の関係課、幸手保健所及び民間関係機関の担当者が参加し、対応困難ケース等の事例に関する情報を共有した。 開催実績：3回（R1.11月末時点）	中央保健センター	
	(3) いきいきと安心して暮らせる地域づくり	★見守り・居場所づくりの取組み	①地域の見守り・居場所づくり	1	要援護者見守り支援事業	住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるよう地域一体となった要援護者の見守り支援体制づくりを進めます。	【令和元年12月～令和2年1月】 令和元年度久喜市要援護者見守り支援事業に係る合同会議（久喜地区3回、菖蒲地区1回、栗橋地区2回、鷺宮地区1回） 対象：民生委員・児童委員、行政区長、自主防災組織代表者	社会福祉課
				2	いきいきデイサービス事業	家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、健康体操や趣味活動等の機会を提供することにより、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図り、要介護状態への進行を予防します。	要支援・要介護認定を受けていないが、家に閉じこもりがちで、介護予防が必要な高齢者を対象に、健康チェック、健康体操、給食、趣味活動等を実施しました。 令和元年10月末現在 市内24会場で実施 開催回数 564回 延べ利用者数 6,459人	高齢者福祉課
				3	認知症総合支援事業	認知症の人、家族、周囲の人などが悩みや問題を自由に話せる「オレンジカフェ（認知症カフェ）」の開催や、物忘れや認知症についての不安がある人や家族からの相談を受け付ける「物忘れ相談」などを実施します。	認知症に関することを自由に話せる機会を提供する事業や、物忘れなどの相談を受け付ける事業を実施しました。 令和元年度10月末現在 ・オレンジカフェ 市内4地区で実施 開催回数 13回、延べ参加者数 69人 ・物忘れ相談 市内4地区で実施（予約制） 相談件数 4件	高齢者福祉課
				4	学校いきいき支援事業	通常学級に在籍するLD（学習障害）やADHD（注意欠陥多動性障害）等、特別な教育的支援を必要とする児童生徒及び特別支援学級の児童生徒のニーズに応え、一人ひとりが生き生きと学校生活が送れるよう支援します。	小・中学校に教育活動指導員・支援員（計名）を配置し、通常学級又は特別支援学級に在籍する特別な教育的支援を必要とする児童生徒に対して、毎日の学習や学校生活における必要な支援及び指導を行いました。	指導課

(3) いきいきと安心して暮らせる地域づくり	★生きがい・社会参加の取組み	① 子ども家庭分野における生きがい・社会参加の促進	1	地域子育て支援センター運営事業 (再掲)	子育て中の親子が気軽に立ち寄り、子どもたちが安全に楽しく遊びながら健全に成長できる場を提供し、子育てについての相談、情報提供、助言等、子育て家庭の育児を支援します。	開設日数/久喜 165日/栗橋 165日/鷺宮 165日 利用者/久喜 6,498人/栗橋 7,035人/鷺宮 9,144人 実施事業/久喜 57回/栗橋 53回/鷺宮 71回 子育て相談/久喜 49件/栗橋 38件/鷺宮 62件 ※全てR1.11.30現在	子ども未来課
			2	つどいの広場事業(再掲)	子育て中の親子が気軽に集い、親同士が打ち解けた雰囲気の中で語りあい、交流できる場を提供し、子どもや親同士の交流を支援します。	開設日数 122日 開設時間 午前9～12時 利用者 延べ2,190人 実施事業 18回 子育て相談 27件 ※全てR1.11.30現在	子ども未来課
			3	児童館運営事業(再掲)	地域児童や子育て中の親子に健全な遊び場の提供や子育てなどの相談に応じることで、心身ともに豊かで健康な子どもたちの育成を目指します。	児童センター 鷺宮児童館 開館日数 175日 195日 利用者数 15,807人 8,648人 実施事業数 94回 72回 児童相談 22件 6件 ※全てR1.11.30現在	子ども未来課
			4	地域子育て支援拠点事業費補助事業	地域の子育て支援機能の充実と子どもの健やかな育成促進を図るため、民間地域子育て支援拠点の運営や活動を支援します。	【地域子育て支援拠点事業費補助金交付予定 民間支援センター13箇所 金額：105,965,000円】	子ども未来課
			5	放課後子ども教室推進事業	子どもたちが地域社会の中で、心豊かで健やかに育まれる環境づくりを推進します。	市内23小学校すべてに開設されている、放課後子ども教室(ゆうゆうプラザ)において、実施委員を中心に、学習やスポーツ、文化活動など様々な体験活動や地域住民との交流活動等、普段体験できない活動に参加するとともに、異学年や地域の方々との交流が図られています。(各ゆうゆうごとに5月～2月末まで開校。11月末現在3,247名が加入)	生涯学習課
		② 高齢者分野における生きがい・社会参加の取組み	1	老人クラブ活動補助金事業	高齢者の生きがいづくりや社会参加を促進し、明るい長寿社会の実現と保健福祉の向上を図るため、老人クラブの活動を支援します。	R1.6.26 58単位クラブ、1連合会へ補助金交付 単位クラブ交付合計額：2,252,000円 連合会交付額：1,033,000円	社会福祉課
			2	高齢者大学推進事業	高齢者に実生活に即した学習の機会を提供するとともに、趣味活動や社会参加を通じて高齢者の生きがいを高めます。	通常学習を月・水・金の週3日程度行い、通常の学習以外にも現地研修・修学旅行・クラブ活動やボランティア活動を実施し、高齢者の生きがいを高めることができました。(今年度未予定) ・1年生 学習回数13回、学生48人 ・2年生 学習回数14回、学生42人 ・3年生 学習回数13回、学生38人 ・4年生 学習回数14回、学生49人	生涯学習課
			3	いきいきデイサービス事業(再掲)	家に閉じこもりがちな高齢者を対象に、健康体操や趣味活動等の機会を提供することにより、社会的孤立感の解消や心身機能の維持向上を図り、要介護状態への進行を予防します。	要支援・要介護認定を受けていないが、家に閉じこもりがちで、介護予防が必要な高齢者を対象に、健康チェック、健康体操、給食、趣味活動等を実施しました。 令和元年10月末現在 市内24会場で実施 開催回数 564回 延べ利用者数 6,459人	高齢者福祉課

(3) いきいきと安心して暮らせる地域づくり	★生きがい・社会参加の取組み	③生活全般分野における生きがい・社会参加の促進	1	健康づくり推進事業	健康に関する必要な知識の普及、情報の提供及び、適切な指導を行うことにより、自己の健康意識の高揚を図るとともに、生活習慣の改善を促します。	各保健センターにおいて、運動教室や講座等の健康教育を実施した。また、埼玉県コバトン健康マイレージ事業に参加し、広報や食育セミナー等において、パネルを掲示し、普及・啓発を行った。	中央保健センター
			2	健康づくり・食育推進事業	第2次健康増進・食育推進計画に基づき、6月に食育セミナー、11月に健康づくり・食育推進大会を開催します。	R1.6.29食育セミナー開催 参加者 131名 R1.11.3健康づくり・食育推進大会開催 参加者 429名	健康医療課
			3	市民大学推進事業	生涯学習活動やボランティア活動を通じて、地域コミュニティづくりの担い手及び指導者・リーダーを育成します。	通常学習を水・金・土の週3日程度行い、通常の学習以外にも現地研修・修学旅行・ボランティア活動を実施し、地域コミュニティづくりの担い手及び指導者・リーダー育成を図りました。 (今年度未予定) ・1年生 学習回数30回、学生11人 ・2年生 学習回数20回、学生11人	生涯学習課
			4	社会体育推進事業	市民が、スポーツ・レクリエーション活動に自主的かつ積極的に参加できる場を提供します。	スポーツ・レクリエーション大会及びニュースポーツ教室等を開催しました。 ①くいき健康ウォーク 実施日：令和元年6月16日(日) 参加者：233人 ②綱引大会 実施日：令和元年12月1日(日) 参加者：1,161人 ③ハイキング 実施日：令和元年6月1日(日) 参加者：28人 実施日：令和元年11月17日(日) 参加者：33人 ④フロア・カーリング教室 令和2年1月開催予定	生涯学習課
	★経済的支援	①子ども・子育てにお家援助	1	子ども・子育て支援事業計画に関する事業	子ども・子育て支援事業計画に基づき、子ども・子育てに関する経済的負担の軽減を図ります。	R1.7.22 令和元年度第2回久喜市児童福祉審議会開催 (10名出席) ※計画の進捗状況を報告・審議し、子ども・子育ての経済的負担の軽減に関する事業について評価をしました。	子ども未来課
			①お生活に関する経済的野に援	1	生活保護事業(再掲)	生活に困窮するすべての市民あるいは市内に現在地を有する者に対し、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、その自立の助長を図ります。	生活保護の状況(令和元年10月1日現在) 被保護世帯数：1,309世帯 被保護人員：1,787人
		2		雇用対策事業(再掲)	求職者や求人者に対し、職業相談や職業紹介サービス等の場を提供します。	ふるさとハローワークの設置(平日9時～16時)相談4520件、就職448件(令和元年11月末時点) 内職相談の実施(毎週火・金10時～16時)相談73件、採用数10名(令和元年10月末時点)	久喜ブランド推進課
		3		被災者支援事業	被災者生活再建支援法では救済されない自然災害の被災者を県と県内全市町村の相互扶助により支援します。	実績なし	消防防災課